

泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
0724(83)4653

お知らせ

一、例会

四月四日 九時集合

場所

種河神社

コース

泉佐野カントリーゴルフ場縦断から
土丸(側道)回り

注 四月十一日の例会を変更します。間違いないように！

四月二十五日 九時集合

場所 種河神社

コース

集合後、みんなで決めたいと思います。

二、大会案内

桃源郷マラソン(四月四日)について

先月の機関誌に桃源郷マラソンに参加後、種河神社にてお花見(バーベキュー)を行うとお知らせ

しましたが、マラソンへの申し込みが遅かったため、ほとんどの方が参加出来なくなりました。し

かし、お花見は予定通り行います。

スケジュールとしては、七時に集合し、軽く走っ

た後、バーベキュー大会にしたいと思います。

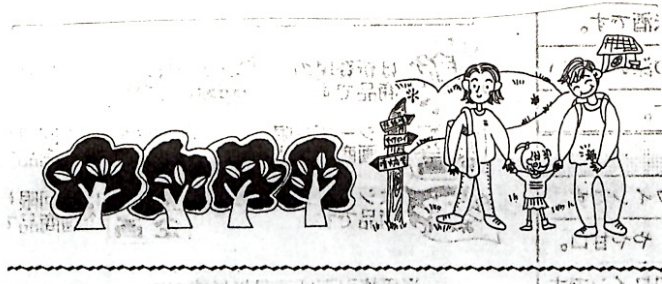
多くの方の参加、宜しく願います。

町石道マラソン(四月十一日)

この大会は、高野口の慈尊院から旧街道を大門まで

登る。距離は、約20キロのハードなコースです。

しかし運が良ければ、二週に渡って桜の花を見る事が出来るかもしれません。楽しみに頑張りましょう。



今年一月十五日成人の日に私は、和歌山県日高町のくえマラソンに参加した。

くえとはあの高級魚のことで、くえの普及を兼ねての村おこしマラソン大会である。

自宅からは、自動車道を使って一時間で会場の役場に到着してしまつた。朝5時に出発したもので、会場にはなにも用意がされていなく、しかたなく車の中で一眠りするはめとなる。

自宅を出るときは、まだ雨が降っていなかったのだが、和歌山インターすぎから本降りになる。妻はいわく、「今年初マラソンが雨だと、先が思いやられるわ」と。たしかに次の十津川マラソンもよく降つてくれた。嫁さんが雨女か。役場の駐車場で、いい気持ちでまどろんでると

車の窓をたたく音で目が覚めた。役員の方がそろそろ準備をし始めたようだ。十時スタートまでまだまだなのだが、仕方ない着替えることにするか。この日は公民館で

地元の物産店もやるようだ。テントの屋台がどんどん出来上がってくる。

そうすると、だんだんいい匂いが漂つてきはじめた。

くえ鍋を炊く匂いだ。ゴルフ後が楽しみなつてきた。このマラソンはハーフではなく、

二十皿を走る。コースは、産湯海岸までの折り返しで多少の高低差はあるが、自宅の周りを

走っていたら、こんなの坂の内には入らん。参加者は百人あるかなしかで、雨の中よく集

まつたもんだ。コース途中に大きな、くえの作り物が展示されてあり地元の、くえという魚に

対しての力の入れ具合を実感させられる。確かに途中の民宿や旅館も、くえ鍋の看板がやけ

に目立つ。私もゴルフ後、くえが試食できると思うと力が湧いてくるはずだが、いかんせん

足と体がついてこない。ま、そんなこんなな走りでもゴールする。

妻は余裕だねと言うが、本人は青息吐息。

そして、楽しみのくえ汁をご賞味させていたたく。大きな切り身が二つ入っていた。

くえという魚は皮が分厚く、かなり油身が多いようだ。このくえ汁はランナーには無料だ

が一般の人には一杯五百円で販売していたことを思うと、やはり高級魚だと思わせる。

子どもの家では、今度いつ食することができるのか？この味を覚えとかんと。

水雨の中を走つた後の暖かいサービスは、本当にありがたい。ほかに参加賞として、Tシャツ、

キーホルダー、あまり車に貼りたいとは思えない、くえの絵のステッカー(実は貼っている)、

おにぎり弁当、そしてなつかしのボンボン菓子、そういえばこれを作つたおっちゃん、

「これ食べたなら、はよ走れるで」、とかなんとか言うてたなあ。

これで参加料二千円は、お得な大会である。後日、記録表も郵送してくれた。

会場からは日ノ岬パークが近くにあるので、そこにある国民宿舎の風呂に入ることにした。

三百円の入浴料で、太平洋が見渡せ、地球が丸いと実感できるほど眺めの良い展望風呂は、

私だけの貸切であり、今日の日を大満足と思わせるに十分だった。ただ一つの汚点は、脱衣場

であまりによく滑る床で、ふりチンのまま仰向けに一度ならず二度もこけてしまい、周りの失笑

を買わずにすんだのが幸い。これも貸切状態のおかげだ。

おしりを撫でつつ、今年も幸運だなあと思うことにする。

萩往還マラニツク二五〇キロ(五月二日〜四日)

この大会、泉南走ろう会としては、前会長であられた遠氏が唯一の完走者であります。今年は、この大会に四名が、無謀にも挑戦しようとしています。何しろ二五〇キロという長い距離どんな練習をすれば良いのか、まったく分からないだけに、参加を決断するまでは、色々と考えましたが、完歩出来なくても、まずは挑戦する事が大事と自分で納得するしかありません。しかし、これだけはいえます。困難だと思ふ事。それに挑戦しようとしているのだから、だめであっても、きつと何か自分に残るものがあると思います。残すところ一ヶ月余り、不安でもあり待ち通しいようでもあります。後は、悔いを残さないように練習あるのみ。

ちなみに、参加を予定しているのは、泉州では、プロの走りを見せた石井さん、そんじよそこのヘナチヨコランナーとはチヨット違う、走ろう会を代表する女性、徳山さん、これと目標が決まれば、努力の虫の真鍋さん、そして新しい物好きの岡田の四名です。皆さん期待して下さい。

岡田



泉州マラソン後の打ち上げにて
(樽井、魚政)
1999年2月21日